

# 小山田

日本書紀にも出てくる古賀最古の集落。

古代と現代が錯綜する地域、小山田。

西暦200年、<sup>じんぐう</sup>神功皇后が政務を執られたといわれる

聖母屋敷の一角に立てられた小山田齋宮を有し、

この地の歴史の深さを感じさせてくれます。

現代を生きる人の営みの中に、

古代から脈々と流れる

神々の息吹を感じてみてはどうですか。



## 小山田避水センター A

古賀で最初の農業集落排水施設。処理された水は貯水池に戻され、農業用として再利用されているそうです。



## 庚申塔 B

ときは元禄14(1701)年、赤穂浪士の討ち入りより約半年前の6月4日建立。年号がわかる古賀市最古の庚申塔です。



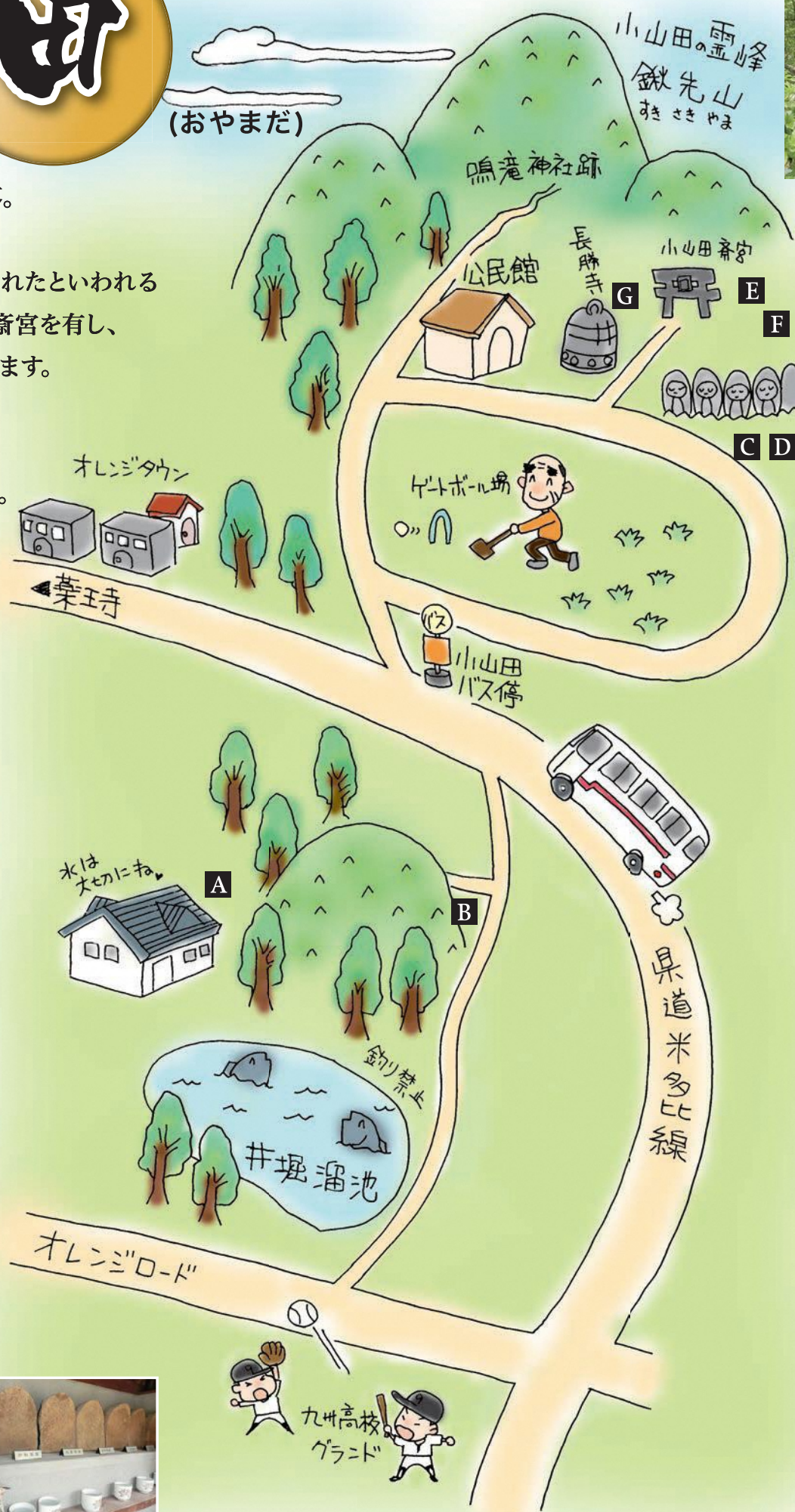
## 十三仏板碑 C

昭和54年に高川さんのお宅から出土した室町時代の十三仏板碑、石版に彫られた仏像は「すじ彫り」と呼ばれている。高川さんが自宅の社を壊して、スコップが「ガチッ」と当たって、掘り返してみたときは、とにかくびっくりしたそうです。平成2年に古賀市文化財に指定されています。

※十三仏…死者供養のため、初七日から三十三回忌までの仏事を割り当てられた仏をいう。

## 一字一石経 D

十三板碑と共に出土した7000から8000個の石。石一つ一つに一文字か二文字の字が書かれており、合わせると経文になる。



## おやまださいくう 小山田齋宮 E

「日本書紀・神功皇后紀」によると、仲哀天皇が九州に下り、香椎宮で崩御のおり、妻の神功皇后が齋宮を建ててこもったとあります。齋宮を囲むように5つの神社が祀っており、言い伝えも出土品も数限りない。詳しくは市立図書館で、春には桜の名所となります。

社叢にはブナ科スダジイ、タブ、ネズミモチ、アラカシイチイガシなどの巨木が群生しており、これらの小山田齋宮社叢が昭和58年に福岡県の天然記念物に指定されています。イチイガシの大きなものは樹齢千年以上経っていて、胸高周囲4m、高さ30mもあります。平成16年に「未来に残したい巨木古賀市10選」にも登録されました。

※齋宮…天皇または皇后が神事を行うための宮殿



## 輪越し祭り F

小山田齋宮では毎年7月31日に輪越し祭りが行われます。神主さんの太鼓を合図に、祓い清められた茅の輪の周りを8の字を書くように回ります。邪心を和ませ、災いや夏バテから身を守り、元気に夏が越えるようにというお祭りです。



## 長勝寺 G

入り口の看板には長勝禅寺と書いてあるが、正式名称は長勝寺。看板を書いしてくれた人がおまけで禅の字も書いてくれたらしいとのこと。



## 獅子舞

小山田では「祇園祭り」の名残として今でも子ども達が、獅子舞を行っています。各家庭を1軒1軒訪問し、無病息災を願って家人の頭を獅子舞で「かくかく」と祈願します。

